

！ 自分でできる

みなさんが、もし一人で家にいるとき、地しんがきたらどうしますか。みやびさんがとった行動を読んで考えてみましょう。

今日はるすばん。外はもうくらくらってきたのに、お母さんはまだ帰ってきません。

そのときです。きゅうに目の前のテーブルがぐらぐらしはじめました。

みやびは、いそいでテーブルの下に入って、テーブルの足につかまりました。大きなゆれは、なかなかおさまりません。食きがつぎつぎとおちてわれ、家の電気がぜんぶきえてしまいました。

やがて、ゆれがおさまると、みやびはとてもふあんになりました。家の中はめちゃめちゃで、どこに何があるかも分かりません。(どうしたらいいだろう……。あっ、そうだ！)

みやびは、お母さんがいつも台所で聞いていたラジオをさがして、スイッチを入れました。すごく大きな地しんで、多くの人たちがひなんしているようでした。



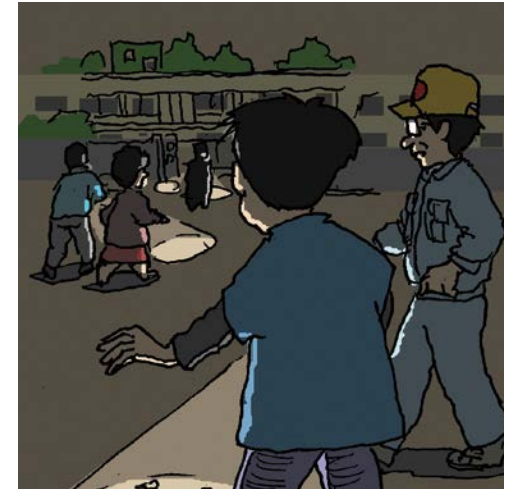
(つなみが来るかも……。ぼくもひなんしなきゃ！)

みやびは、「だれも家にいないときに、大きな地しんがきたら、一人でも小学校にひなんするのよ。」

とお母さんから言われていたことを思い出しました。

いつもげんかんにおいてあるかい中電とうをもって、いそいで外に出ました。近所の人たちも同じように学校へむかっていたいました。あたりはすっかりくらくらなくなって、遠くからサイレンの音が聞こえてきました。

学校につくと、体育館で先にひなんしていた友だちに会うことができました。やがて、お母さんがむかえにきました。



みやびさんはぶじにひなんできました。みやびさんのしたことで、よかったことはどんなことでしょうか？